

低線量 肺がんCT検診が始まります

新型CT装置導入に伴いバージョンアップした肺がんCT検診のご案内です

● 肺がんCT検診 とは？

早期肺がんなど、様々な肺疾患の早期発見を目的にCT装置を用いておこなわれる任意型検診です。当院では、日本CT検診学会が定めるガイドラインに準じ低線量での肺がんCT検診をおこないます。

健康診断は健常人を対象とした医療行為です。当院放射線科では、被ばくなど「受診者の不利益は最小でなければならない」という理念のもと検診業務にあたっています。

● 低線量とは？

一般的に、病変を確実に検出するには多くの放射線を必要とします。しかしその一方、放射線被ばくが増えてしまいます。

当院に導入された新型CT装置では、人工知能（AI）技術をささえる機械学習の手法のひとつである深層学習（Deep Learning）を用いて検査をおこなうことで、極めて少ない放射線と放射線被ばくで、早期の小さな病変も検出することができます。



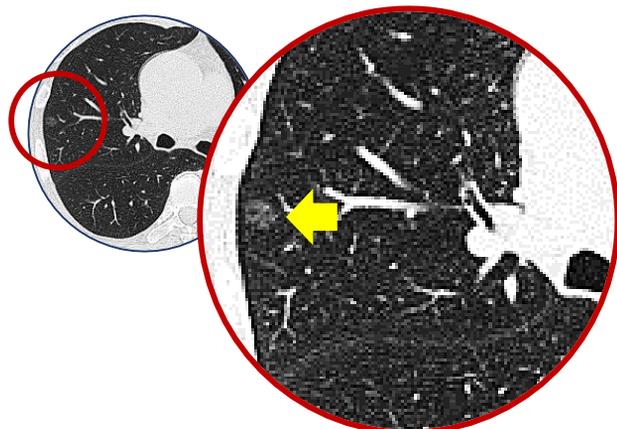
Canon社製
Aquilion Prime i-Edition

低線量肺がんCT検診での放射線被ばくは通常の胸部CT検査の約5分の1※1です。

※1：当院で標準線量にて撮影された胸部CT検査と比較した被ばく量

● 胸部レントゲン（X線）では不十分？

胸部レントゲン（胸部X線）では、肺の約3分の1は心臓や血管、横隔膜などと重なってしまい、小さな病変を見つけることが困難な場合があります。しかし、CTは断面像（輪切り像）ですので重なりのない画像となり、小さな病変も良好に描出します。



右図 赤丸／黄色矢印

低線量肺がんCT検診で対象となる肺病変

● 日本における肺がんの現状は？

生涯でがんに罹患（りかん）する割合は、男性：65.5%、女性：50.2%です。そのうち、肺がん
に罹患する割合は、男性：10.1%（10人に1人）、女性：5%（20人に1人）です。

○ がんによる死亡数の多い部位

| | 1 | 2 | 3 |
|-------|----|---|----|
| 死因：男性 | 肺 | 胃 | 大腸 |
| 死因：女性 | 大腸 | 肺 | 膵臓 |

国立がんセンター がん情報サービスHPより抜粋

● 喫煙と肺がんに関係性は？

一日の喫煙本数と喫煙年数から算出される喫煙指数は肺がんなどの肺疾患に大きく関係して
います。（例：1日20本、20年間の継続喫煙での喫煙指数は400になります）

| | 400 ≤ | 600 ≤ | 1200 ≤ |
|------|------------|-----------------------------|----------|
| 喫煙指数 | 肺がんが発生しやすい | 肺がんの高度危険群 慢性閉塞性肺疾患（COPD） | 咽頭がんの危険群 |

● 非喫煙者でも低線量肺がんCT検診はこのような方に推奨されます。

- ・ 過去に胸部レントゲン（X線）検査で異常を指摘された方
- ・ 過去に肺の病気をされた方
- ・ 最近、呼吸苦や咳・痰が出るなどの症状がある方
- ・ 近親者に肺がん罹患された方がいるなど、遺伝的に心配な方
- ・ 男性：40歳、女性：45歳以上の方

● 検査費用

- ・ ￥11,000 （2021.06現在：※ 喀痰（かくたん）細胞診は別途費用（￥3,300）が発生します）

低線量肺がんCT検診（肺ドック）に関するお問い合わせ、お申し込み



JCHO東京蒲田医療センター 健康管理センター

- ・ 電話：03-5744-3268

受付時間：月～金（土日祝日除く）8：30～15：00

- ・ FAX：3736-8358

受付時間：24時間受付